

## 【プロジェクト名】教師力・学校力向上に資する実践研究

## 1 プロジェクトの目的・概要

佐賀県教育センターの研究の質の向上を図るとともに、教育センターの研究成果を有効に活用して、佐賀大学教員養成課程における教員志望学生の育成の充実を図ることを目的として、連携・協力事業「教師力・学校力向上に資する実践研究」に取り組む。本プロジェクトを通して、佐賀県の教師力、学校力の向上に資することとする。取組としては、教育センター研究調査事業で取り組んでいるプロジェクト研究等に対して、佐賀大学教育学部教員による専門的な見地からの助言を受けるとともに、佐賀大学教員養成課程の講義等での教育センター研究成果の有効な活用を図る。

## 2 令和2年度の実施実績

教育センターが令和2年度に取り組んだ研究と連携した佐賀大学教育学部教員

教育センターの研究	研究担当所員	連携する佐賀大学教員
小学校国語科教育	原田亮一 今泉幸子	教育学部
中学校国語科教育	高取須賀子 目野登美恵 岩瀬弘憲	教授 達富洋二
小学校算数科教育	福田栄吉 新真一	大学院学校教育学研究科
中学校数学科教育	長野宏顕 石原紳一郎	准教授 米田重和
小学校図画工作科教育	高添比登美	教育学部
中学校美術科教育	古川秀明	教授 栗山裕至

## 3 令和3年度の実施計画

## (1) 組織

教育センターが令和3年度に取り組む研究のうち、佐賀大学教育学部教員と連携する研究

教育センターの研究	研究担当所員 (○主担当)	連携する佐賀大学教員
小学校算数科教育	○光吉智宏 新真一	大学院学校教育学研究科 准教授 米田重和

(2) 連携の進め方 (図参照)

月	研究の段階	連携方法・内容				
		教育センター	【教師力・学校力向上に資する実践研究】	佐賀大学		
4月	問題提起・課題	研究要項作成  研究計画策定  コンテンツ配信 授業実践 コンテンツ配信 授業実践 コンテンツ配信 Web等の作成	訪問・今後の日程調整等	教育センター研究成果の 有効な活用(講義等)		
5月	設定する		研究の方向性の説明			
6月	方向性を策定する		研究の方向性についての助言			
7月	コンテンツ作成		コンテンツの内容についての説明			
8月	コンテンツ作成		コンテンツの内容についての助言			
9月	コンテンツ作成		Web原稿等の提示			
10月	研究のまとめ		まとめや次研究への助言			
11月						
12月						
1月						
2月	成果と課題を分		次研究に向けた調			
3月	析する		査・分析			

図 教育センターの研究に関する佐賀大学との連携計画

ア 研究の方向性を策定する段階で、教育センター研究担当所員は、連携を依頼した佐賀大学教育学部教員を訪問し、方向性について説明した上で、助言を受ける。

イ コンテンツを作成・配信する段階(6月~12月)で、教育センター研究担当所員は、コンテンツの内容について説明した上で、助言を受ける(電子メール等でのやり取りでもよい)。

ウ 研究のまとめの段階(11月~1月)で、連携を依頼した佐賀大学教育学部教員から助言を受ける(電子メール等でのやり取りでもよい)。

エ 佐賀大学教育学部教員は、佐賀大学教員養成課程の講義等で、その有効性が認められると判断した場合は、教育センターの研究成果の活用を図る。講義等に教育センター研究担当所員を招聘することも可能である。教育センター研究担当所員は、依頼に応じて、講話、資料提供、実践発表等を行うこととする。